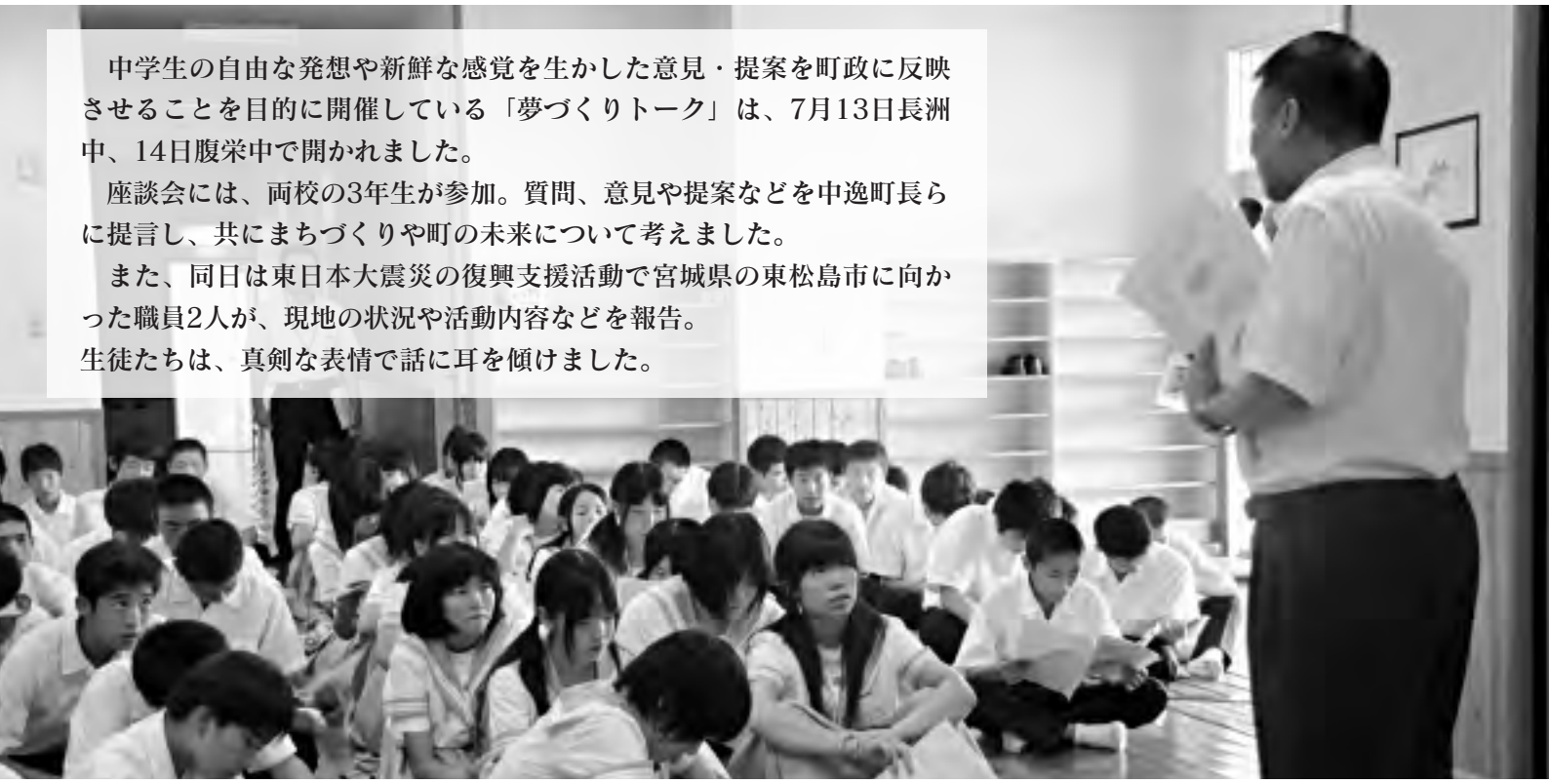
長洲町の未来を話そう　夢づくりトーク

［中学生との座談会］



中学生の自由な発想や新鮮な感覚を生かした意見・提案を町政に反映させることを目的に開催している「夢づくりトーク」は、7月13日長洲中、14日腹栄中で開かれました。

座談会には、両校の3年生が参加。質問、意見や提案などを中逸町長らに提言し、共にまちづくりや町の未来について考えました。

また、同日は東日本大震災の復興支援活動で宮城県の東松島市に向かった職員2人が、現地の状況や活動内容などを報告。

生徒たちは、真剣な表情で話に耳を傾けました。

――――トークで交わされた意見などを紹介します（一部抜粋）

Q. 長洲駅に駐輪場を作ってはどうですか。

A. 駅には今も駐輪場があります。スペースの問題もありますが、1番はみんながマナーを守って、決められた場所にきちんと駐輪してもらえたらと思います。

Q. バリアフリーの取り組みについて教えてください。

A. 公共施設のバリアフリー化などは、階段にスロープを設置したり、トイレを和式から洋式に替えたりしています。

Q. テニスコートを増やしてもらえませんか。

A. コートを増やすことは、限られた敷地の中ではなかなか難しいと思いますが、できる限り、皆さんがスポーツをしやすい環境づくりや整備に努めていきたいと考えています。

Q. ごみを燃やしてはいけないと聞いていますが、どのようなルールがありますか。

A. ごみ（廃棄物）を燃やすことは、法律で禁止されています。もし、通報（苦情）があれば指導し、それでも止めてもらえない場合などは、「5年以下の懲役」や「1千万円以下の罰金」もあります。

Q. 「金魚水族館」を作ってPRしてはどうですか。

A. 金魚と鯉の郷広場の『金魚の館』は、以前、全国でも珍しい金魚の水族館としてオープンしました。しかし、施設の老朽化のために、現在休館中です。本年度、建物の修繕工事を行い、来年4月オープンの予定です。今回は、金魚の水族館ではありませんが、町の産業（造船や金魚）・歴史・観光を紹介する展示コーナーやイベントコーナーなどを計画しています。

Q. ソーラーパネルの施設ができましたが、町ではこの施設をどのように考えていますか。

A. 3月、名石浜工業団地内の（株）LIXILにメガソーラー施設ができました。6月で見学者が1，000人を超え、多くの人たちが県内外から視察に訪れています。町でもこれを受け、「環境の町・長洲」として家庭への太陽光発電システム設置補助金制度などを始めました。今、自然エネルギーによる発電への関心が高まっています。町でもさまざまな取り組みに努めたいと思っています。